

## 令和5年度 第3回 郡山遺跡・陸奥国分寺跡等調査指導委員会 議事録【要約】

- 開催日時： 令和6年1月23日（火） 14:00～
- 開催場所： 仙台市生涯学習支援センター5階 第一セミナー室C
- 出席者：
  - （委員） 山形大学学士課程基盤教育院教授 荒木 志伸
  - 仙台市教育局学校教育部
  - 学びの連携推進室主任兼CSアドバイザー 伊藤 恵子
  - 東北工業大学教務学生課主任 菅原 玲
  - 東北学院大学教授 永田 英明【委員長】
  - 郡山矢来町内会会長 松 公男
  - 山形県立米沢女子短期大学 吉田 敏
  - 秋田大学名誉教授 渡部 育子【副委員長】

※敬称略・五十音順

（オブザーバー）

宮城県文化財課 技術主査 齋藤 和機

（事務局） 仙台市教育局生涯学習部長 柴田 由紀  
文化財課長 長谷川 蔵人  
整備活用係長 佐伯 修一  
主査 沼倉 幸司  
主任 大江 美智代  
主事 五十嵐 愛、妹尾 一樹  
会計年度職員 長島 栄一

（報道機関） 2名（河北新報社、読売新聞）

（傍聴人） 1名

○議事(要約)

(1)協議事項

①「史跡仙台郡山官衙遺跡群保存活用計画」パブリックコメント結果および最終案について

永田委員長

「史跡仙台郡山官衙遺跡群保存活用計画」のパブリックコメント結果及び最終案について議論したいと思います。最終回なので、忌憚なき意見を頂ければと思います。まず事務局からご説明をお願いします

ます。

事務局より説明(割愛)

永田委員長

まずパブリックコメントを頂いた内容について議論し、先生方からご意見を頂いたうえで、「史跡仙台郡山官衙遺跡群保存活用計画」の最終案について、議論しつつ見直しなどをしていこうと思います。パブリックコメントについて、内容的には応援して頂いているような内容が多かったように思います。事務局としては、パブリックコメントを受けて、内容を修正するようなことはないとのことでしたが、この先にある整備基本計画策定においては、パブリックコメントで頂いた具体的な提案等にも踏み込んでもらいたいです。それではパブリックコメントについて、ご意見・ご感想等ありましたらお願いします。

松委員

1月11日の新聞に多賀城の南門が取り上げられ、地元では「郡山遺跡の方が古いのに、多賀城に先を越された」という話が出ていました。第2の多賀城となるような成果を期待したいです。石組池などの遺構が地中に埋まっていて何もないので、郡山遺跡を見に来た方に「石組池はどこにあって、どのような意味があるの」というような質問を受けたことがあります。現状として何もないので、分かりにくい状況です。連合町内会への文化財課職員からの説明や町内会の新聞(矢来通信)などによって、郡山遺跡に対する地元の関心も高まっています。地元の熱が冷めないうちに、具体的な動きを期待しています。

永田委員長

地元の機運を高める活動をしているのは素晴らしいことだと思います。多賀城に比べて、現状ではわかりにくいので、郡山遺跡の価値に関する情報発信を頑張ってもらいたいです。

渡部委員

郡山遺跡は多賀城と並んで極めて貴重な遺跡です。今後20年以上にわたって整備等を進めていく際に、具体的に何をしているのか、市民にご理解いただけるような表示などを用意するとよいと思います。

永田委員長

パブリックコメントでは、計画自体が20年は短すぎるというような意見もありましたが、まずは今回の保存活用計画に沿って20年間しっかりと進めて頂ければと思います。そして、20年で終わりではなく、必要に応じてその先を考えて頂ければと思います。また進めるうえで計画そのものや整備の内容等、情報を市民へ周知し、市民の理解を頂きながら、進めて頂ければと思います。

荒木委員

今まで委員会で議論してきたような内容の意見をパブリックコメントで頂くことができよかったですと思います。山形県で実施したら、上手く集まるのかと思い、うらやましく感じます。パブリックコメントの募集はどのような形で実施しましたか。

#### 事務局

市政だよりやホームページへの掲載、また市政情報センター、各市民センター、所管施設等への配架などの方法で実施しました。ご意見は、郵送、FAX、電子メールでご提出頂きました。意見の提出については、FAXでの提出が多かったです。

#### 荒木委員

FAXでの提出が多いことや年末の忙しい時期の募集、かなりボリューム感のある中間案であったということなどを鑑みると、おそらく年配の方や強い関心のある方からのご意見が多いと思います。ご意見を頂いたものに対するレスポンスのようなものを発信していく機会を設けることで、サポーターとして継続して意見を寄せてくれると思います。今回、期間中には意見出来なかった人もいますので、意見を吸い上げる場面をまた設けていくとよいと思います。

#### 永田委員長

計画を進めるうえでの相互の意思疎通として、意見を吸い上げながらフィードバックしていくことは大切だと思います。

#### 伊藤委員

地元の子供たちは、依然としてまだ関心が低いと思います。もう少し長いスパンで考えて、郡山中学校、東長町小学校、八本松小学校のコミュニティスクールの中の議題として、郡山遺跡を取り上げ、地域の宝として末永く見守っていこうという視点で地域の方から応援を頂けるとよいと思います。学校教育とのつながりという面で、地域の小中学校との関わりをまず大切にしていって欲しいです。

#### 菅原委員

パブリックコメントを見て、少し気になった点としては、他のパブリックコメントと比べて、意見を頂いた人数が7名、意見の総数が18件と、郡山遺跡への関心がある人が少ないだけでなく、おそらく年配の熱心な方からの意見がほとんどという点を見ると、若干偏りがあるように考えられます。若い世代や様々な業種の方などから、多くの意見を頂けるようなアプローチを工夫していく必要があると思います。また頂いた意見の内容を見ると、具体的な対応について知りたい方が多いように感じますので、計画の具体性が求められていると思います。

#### 事務局

仙台市では様々な分野の政策や計画等について、パブリックコメントを募集しております。やはりその分野に関心が深い方や課題を感じられている方、活動されている方などからの意見が多く、その裾野が広いほど、意見が集まりやすい傾向にあります。今回に関して言えば、他のパブリックコメントよりも、意見を頂いた人数や件数に関しては少ないですが、応援してくださっている方からの意見が多かったと感じております。今後は関心を持っていない人へ裾野を広げていかなければならないと考えております。

#### 永田委員長

裾野を広げていくことが計画を進めていくうえで大切なことだと思います。併せて具体的な方策も考

えながら進めていくことも大切だと思います。吉田委員はご意見等ありますか。

吉田委員

頂いた意見については、前向きな受け止めでよいと思います。頂いた意見を巻き込んでしっかりと進めていければよいと思いました。

永田委員長

パブリックコメントに関しては、一通りご意見を頂きましたので、それを踏まえて、最終案の確定に向けた検討を行いたいと思います。パブリックコメントの内容を見ると、特に整備・活用というところが市民にとって関心が高いところだと思います。計画のスケジュールに関しては、124 ページにあるように令和 6 年度から 20 年間の計画ということで、計画ができ次第、具体的な動きが始まるので、最終案を確定するにあたって、修正すべき点やお気づきの点があればよろしくお願い致します。

吉田委員

市民に対して長いスパンの保存活用計画を策定したこと、またこれからより具体的な動きを示す整備基本計画が作られることを知っていただいた方がよいと思います。できる限りで構いませんが、計画の中のどこかに計画の全体イメージがつかめるような内容のものを挿入し、市民に長いスパンの計画であることがわかるようにするとよいと思います。

菅原委員

124 ページのスケジュールで大体的ことは理解できるが、具体的なことが分かりにくい。例えば教育との連携強化やパンフレットの作成など、具体的にどの時期に何をするのかについて、盛り込める内容は盛り込んだほうがよいと思います。また盛り込むことができない場合はどのように発信していくのか、明確にしていかないと地域の方々や教育関係の方々との連携が難しいと思います。

事務局

事務局で検討し、市民に全体のスケジュールがわかるような内容のものを前半の目立つ部分に盛り込むようにしていきます。

渡部委員

18 ページの風景写真や 66 ページのイメージ図のようなものを盛り込むことで、市民に分かりやすくなると思います。今までの議論が反映されていて非常に読みやすくなったと思います。

永田委員長

2 人の委員からお話いただいたように、市民に「郡山遺跡がこの先どのようになってゆくのか」というイメージがつかめるとよいと思います。

松委員

今の話はとても大切なことだと思います。地元としてもイラストや図などがあると、これから先がイメ

一ジでき、ありがたい。具体的に進められることを少しずつでも進めていって欲しい。

事務局

計画そのものをお伝えすることも大切ですが、市民に価値が伝わるような概要版やパンフレットのようなものがあればより良いので、今後、作成を検討していきたいと思います。

事務局

これまで郡山遺跡を紹介するいくつかのパンフレット等は作成してきたが、作成してから時間がたっているだけでなく、保存活用計画も策定するので、新しいパンフレットを作成し、市民へお伝えできるようにしていければと考えています。

伊藤委員

知人などから「ここって見に行っているの？」などと質問をされることがあります。試しにインターネット検索をしてみたところ、口コミや写真などを掲載している人や興味をもって足を運んでいる人がいるのがわかりました。

事務局

パンフレットには説明版の位置などは載っていますが、そのような情報のホームページへの掲載などをしたほうが効果的だと思いますので、工夫をしていきたいと思っています。

伊藤委員

実際に行くとなると自家用車で行くことになると思いますが、現状として駐車場などはないですね。

松委員

八本松市民センターや郡山コミュニティセンターでは、歴史に関わる講座が行われている。その一環として、郡山遺跡を回っている人がいるようです。

事務局

地域で活動している方との連携も必要だと思います。

永田委員長

地域で活動している方々との連携や情報共有を密にしていきたいと思います。インターネットなども盛んな時代なので、工夫ができると思います。

伊藤委員

関心がないのではなく、聞けば調べると思います。知ると興味を持つのに、知られていない状況なのだと思います。もう一点、遺跡の写真や地図などはものすごく見やすいのですが、例えば 109 ページ以降の出前授業やボランティアの活動など、活用の様子の写真が小さすぎると思います。文章の内容が難しいところを写真で補助できると思いますので、活用の様子がわかるように修正して頂ければと思います。

永田委員長

個人情報等もあるかと思いますので、検討したうえで修正をお願いいたします。

事務局

個人情報等に配慮したうえで、活用の様子がわかるように修正させていただきます。

菅原委員

108～109 ページの「活用の方法」について、写真と文章の連動わかりにくいのでわかりやすくしたほうがよいと思います。別のページに関しては文書中にどの写真の内容を説明しているか分かるように示されていますが、このページについては分かりにくいので、他と統一したほうがよいと思います。

永田委員長

全体的にも見直しをして頂きたいです。

菅原委員

29 ページと 113 ページの遺跡に付した番号がバラバラです。それぞれ文章を読めば、地図の趣旨が違ふことは分かるのですが、勘違いが生じる可能性があるので少し気になりました。

渡部委員

それぞれの趣旨が違うので、あまり違和感はありませんでした。

菅原委員

地図の趣旨が違うのはわかるが、番号が違うのはやはり違和感があります。

事務局

113 ページの地図については、解説を付して分かりやすくする対応をしたいと思います。また番号の表記等、表現の工夫をしたいです。

菅原委員

30 ページの仙台市内の主な文化財について、「磐司」と表記がありますが、これは「磐司岩」ではないのでしょうか。

事務局

名勝指定した際の表記が「磐司」であり、もの自体は「磐司岩」と呼ばれているものです。

菅原委員

80 ページの①～④について、地図の中では(1)～(4)で表記されており、統一したほうが良いと思いました。96 ページと統一し、80 ページの文書内の①～④は(1)～(4)としたほうが良いと思いました。

永田委員長

本日ご指摘の頂いた点以外も確認頂き、表記の仕方などについて修正をよろしく申し上げます。今後はこの計画をどのように周知して行くかが、これからの課題になっていくかと思えます。県文化財課の齋藤さんは何かお気づきの点はございますか。

県文化財課【齋藤】

全体的によくまとまっていると思えます。今後は本日の意見を参考にして最終チェックを行ってほしい。一点あるとすれば、この 20 年間の計画の中で名称が変わることが想定できるものは、書かなくてもよいと思えます。例えば補助事業名など、コロコロ名称が変わることが想定できるので、趣旨がわかれば、記載は不要だと思います。

永田委員長

今日頂いた意見を参考にして、事務局で最終案をまとめて頂ければと思います。

②令和 5 年度郡山遺跡および陸奥国分寺跡発掘調査結果について

永田委員長

事務局からの説明に関して、何かご意見等あればよろしく申し上げます。

吉田委員

郡山遺跡の調査では、建物間に新たに柱穴を発見したとのことで、非常に意義のある調査だったと思えます。両側の建物と比べて、柱痕は出ているのでしょうか。

事務局

柱穴の痕跡の直径が約 28cm あり、周りの建物の柱穴も約 25～30cm なので、比べても同じような直径なので一連の遺構ではないかと考えています。

永田委員長

郡山遺跡の政庁の理解を深めるうえで関心の高い調査だったと思えます。陸奥国分寺に関して、過年度は北門を狙った調査と捉えていましたが、出なかったという理解でよろしいでしょうか。

事務局

かつて北門があったと考えられていたところを調査したのですが、北門の痕跡は残っていないという調査結果になっています。今年度検出した築地塀の北側の溝跡の延長部分を調査していくことで、北門の位置を特定していきたいと考えています。

以上